

編集後記

早いもので、郵政歴史文化研究会の発足から6年の月日が流れ、当研究会の研究紀要も第5号まで発行することができました。

今年度は、郵政歴史文化研究会の事務局でもあった「通信総合博物館」が、地域の再開発のため2013年8月31日をもって閉館し、2014年3月1日、新たに「郵政博物館」として、展示場が東京スカイツリータウン® ソラマチに、収蔵施設が千葉県の行徳に資料センターとしてオープンするという、大きな節目の1年でした。

111年間受け継がれてきた約200万点に及ぶ膨大な収蔵資料を安全に移動させるため、閉館の数か月前から資料の整理、梱包作業を始め、約半年を費やして移転を完了しました。

この間、研究者の皆様には多大なご不自由をおかけいたしました。このような状況にもかかわらず、本号に研究成果をご寄稿いただいた皆様に深く感謝を申し上げます。

今後も、様々な視点から郵政の歴史・文化について考察した研究成果を、当紀要に数多く掲載していきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

皆様のご投稿をお待ちしています。

(研究会事務局 岩島)

[編集委員]

石井 寛治 (東京大学名誉教授)

新井 勝紘 (専修大学文学部教授)

杉浦 勢之 (青山学院大学総合文化政策学部教授)

杉山 伸也 (慶應義塾大学経済学部教授)

藤井 信幸 (東洋大学経済学部教授)

山本 光正 (元国立歴史民俗博物館教授)

田良島 哲 (東京国立博物館 学芸研究部 調査研究課長)

(分科会担当順)

郵政博物館 研究紀要 第5号

印刷 平成26年3月24日

発行 平成26年3月25日

編集 郵政歴史文化研究会

発行 公益財団法人通信文化協会博物館部 (郵政博物館資料センター)

〒272-0141

千葉県市川市香取2-1-16